

学術情報流通の動向と機関リポジトリ

国立情報学研究所

尾城 孝一

ojiro@nii.ac.jp

本日のアウトライン

- 機関リポジトリとは
- 機関リポジトリの実例
- 構築と運用
- 国立情報学研究所の支援事業
- これまでの成果
- 課題と展望

機関リポジトリとは

機関リポジトリの定義

□クリフォード・リンチの定義

- 「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス」

□レイム・クローの定義

- 「単独あるいは複数の大学コミュニティの知的生産物を捕捉し、保存するデジタル・コレクション」

□要するに

- 大学等の学術機関において生み出された、さまざまな電子的学術情報を収集、蓄積、配信することを目的としたインターネット上のサーバ

市民権は得た

□ デイリー新語辞典（インターネット版）

- 大学や学術機関が設ける、インターネット上の電子書庫のこと。論文や実験データなどの知的生産物を収集・蓄積・保存し、内外へ発信する。〔海外では大学図書館を中心にしてシステムを構築する事例が増えており、日本でも普及が期待される〕

□ ウィキペディア（Wikipedia）

- 機関リポジトリ（きかんリポジトリ）とは、研究機関がその知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムである。

□ Yahoo! Japanのカテゴリ

- トップ > 各種資料と情報源 > 学術機関リポジトリ

機関リポジトリの戦略的方向性

□ オープンアクセスへの貢献

– セルフアーカイビング

- 著者が自らの論文電子ファイルをサーバに蓄積し、それを無償で公開する行為

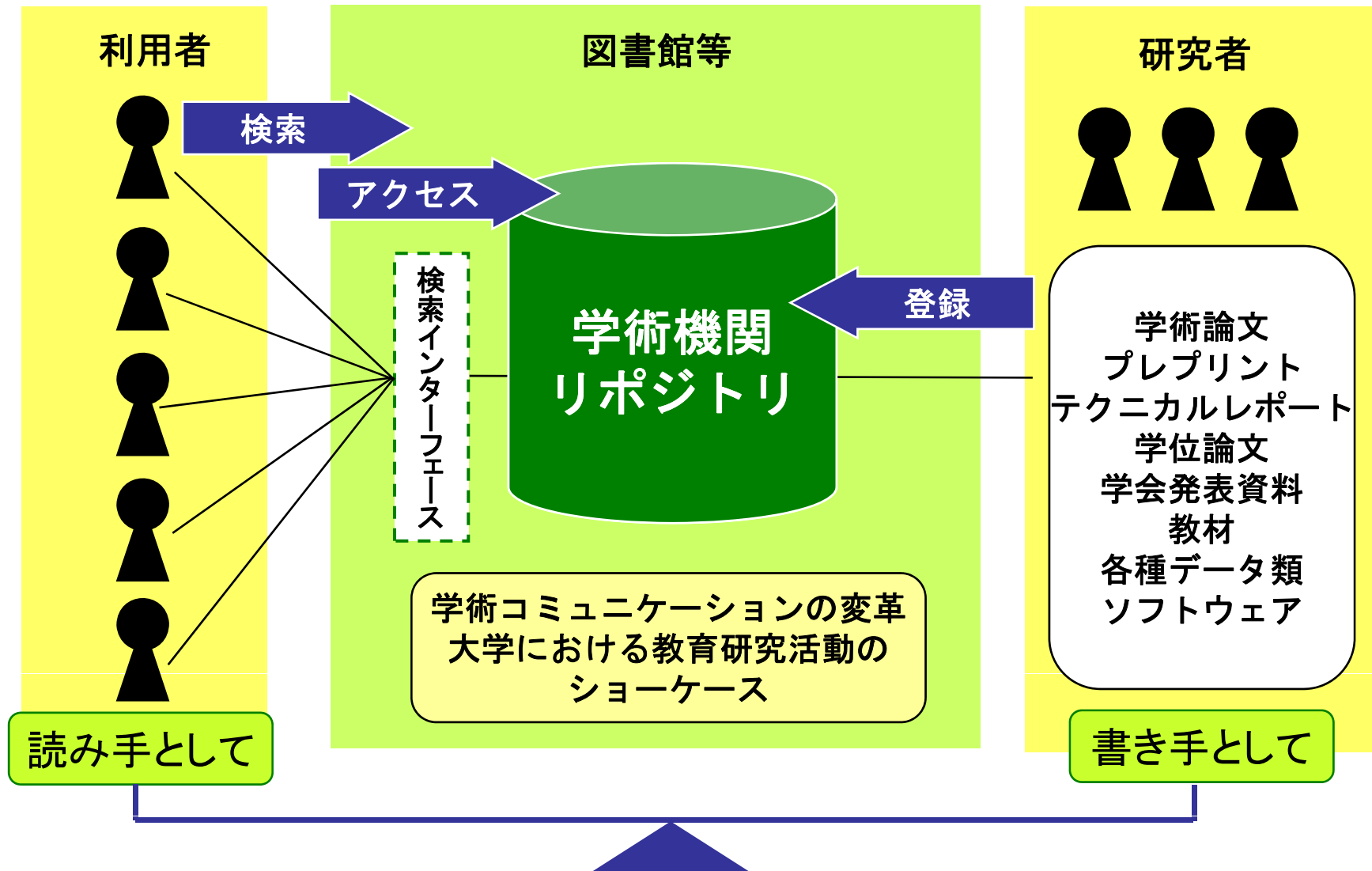
– セルフアーカイビングの受け皿

- 個人のウェブページ
- 分野別 (arXiv.org (物理学) 等)
- 大学・研究機関別 → **機関リポジトリ**

□ 大学の説明責任とブランディング

- 統一的な情報の発信窓口として機能
- 研究成果の社会への還元 → 大学の説明責任履行
- 研究機関としての知名度の向上

概念図



機関リポジトリの構築と運用

目的の設定

- オープンアクセスの実現（北海道大学）
 - 学術雑誌掲載論文を重視
- 教育支援（東北大学，三重大学）
 - 教材，授業配信，教育成果
- 大学における教育研究成果のショーケース（千葉大学）
 - 教育・研究成果全般

学内体制の整備

□なぜ学内合意が必要か？

- 「機関(大学)リポジトリ」であって、「図書館」リポジトリではないから

□なぜリポジトリが必要か？

- 目的, 意義, メリット

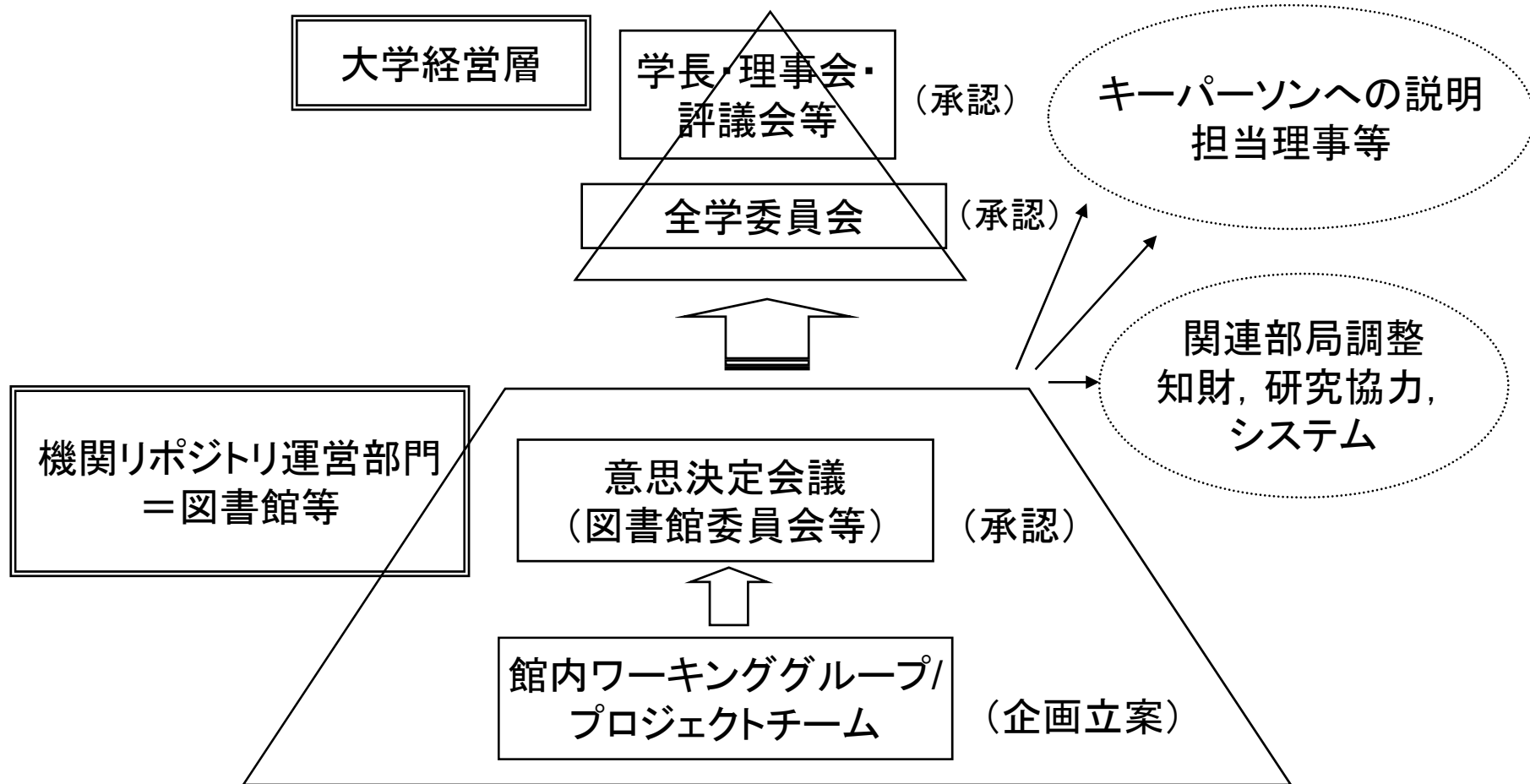
□類縁組織, 事業とのすり合わせ

- 知的財産本部, 産学連携本部
- 研究業績データベース, 評価データベース

□2つのモデル

- ボトムアップ型(北海道大学, 千葉大学...)
- トップダウン型(東京大学, 東京工業大学...)

合意形成モデル(ボトムアップ型)



システム構築

□システム構築の手法

- オープンソースの活用(DSpace, XooNIps)
- ベンダーのパッケージを購入
 - 市販製品の購入、またはオープンソースによる構築を業者に委託

□商用ソフトウェア

- インフォコム, CMS, ユサコ, ソラン(Dspace日本語版スタートパッケージ)

□ASP(Application Service Provider)

- ProQuest DigitalCommons@
- インフォコム

業務運用体制

- 兼務型（これが主流, しかし担当者の負担は純増）
- 専任プロジェクト型（広島大学...）
- 通常業務型（図書館の通常業務に組み込む, 受入, 目録, 慶應義塾大学でその萌芽あり）

□ 集団説明会方式

- 図書館が説明会等を開催する
- あまり客が来ない

□ 直接訪問方式

- 教授会，研究室に直接出向いて説明（北海道大学）→コストはかかるが効果が実感できる
- 情報発信者としての研究者と身近に接する機会
→新しい図書館サービスの可能性
- サブジェクト・ライブラリアン（ファカルティ・リエゾン）の不在が障壁

考えられる障壁

- インセンティブの欠如
 - 自分のウェブサイトで既に公開している
 - どんなメリットがあるの？
 - 登録しなくても何のペナルティもない
- 登録行為に対する抵抗感
 - 登録に手間がかかる
 - 時間がない
- 著作権に関する懸念
 - (特に学術誌掲載論文の場合)登録する権利があるの？

乗り越えるための方策

□インセンティブの欠如

- メリットの強調(アメ)
- 強制力(ムチ)

□登録行為に対する抵抗感

- 使いやすい簡易な登録インターフェースの提供
- 図書館員による登録支援

□著作権に関する懸念

- 出版社や学会のポリシーの報知
- 図書館の共同作業による情報の共有

可視性(ビジビリティ)の向上

□表玄関の整備

- リポジトリ自体のインターフェイス

□裏口からもどうぞ

- OAI-PMHによるメタデータの流通(メタデータ・ハーベスティング)
- リンクリゾルバ対応
- OPAC連携

国立情報学研究所の支援事業

国立情報学研究所(NII)の使命と特徴



最先端学術情報基盤とは

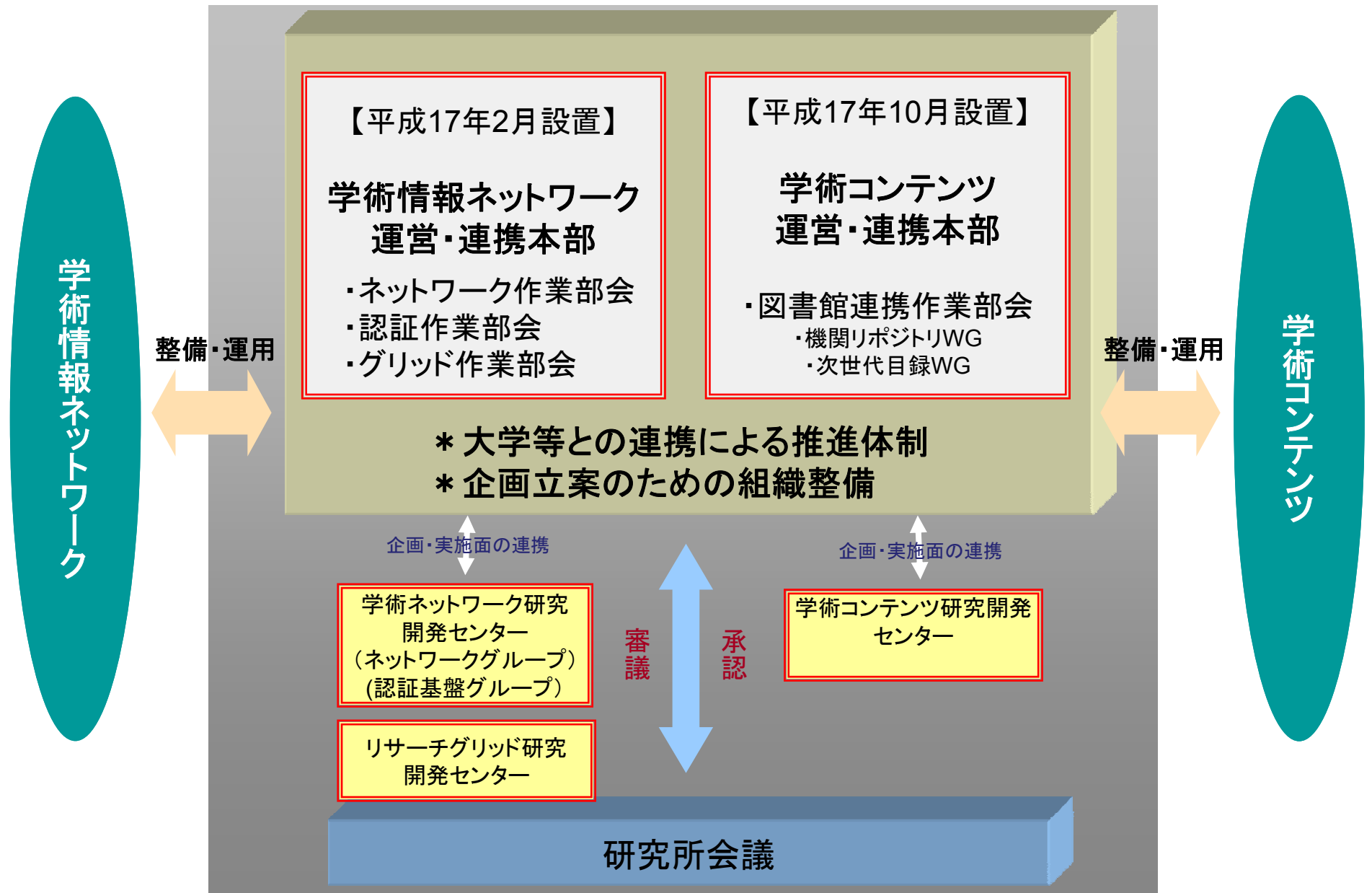
- CSI (Cyber Science Infrastructure)
- 我が国の大学等や研究機関が有しているコンピュータ等の設備、基盤的ソフトウェア、コンテンツ及びデータベース、人材、研究グループそのものを超高速ネットワークの上で共有する「最先端学術情報基盤」

(科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』(平成18年3月23日))

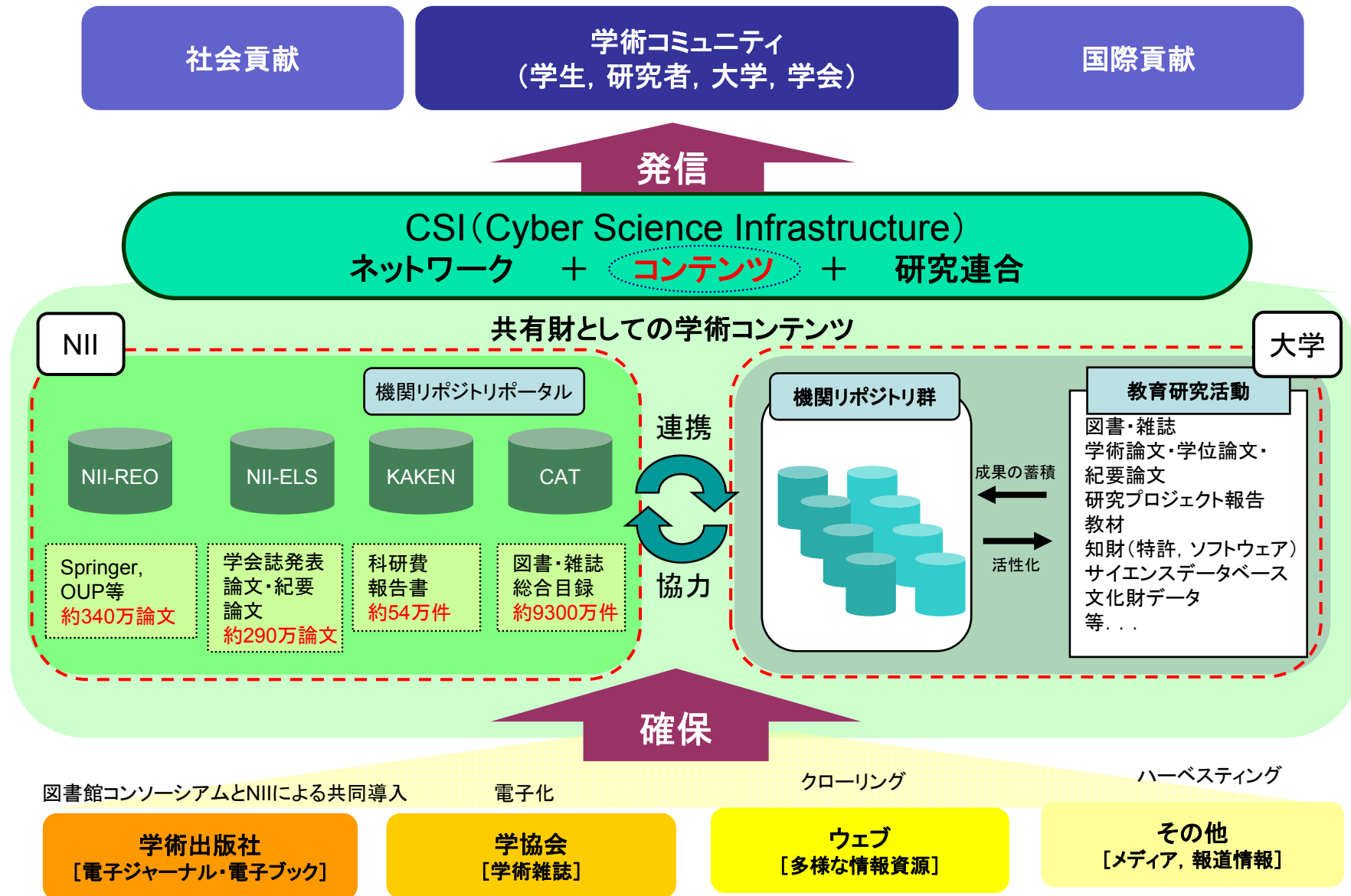
CSI概念図



推進のための組織



次世代学術コンテンツ基盤



NIIの学術コンテンツ関連事業

- 学術コミュニティ(大学等の研究機関, 学会)が必要とするコンテンツを確保・形成し, 付加価値を付けて発信するための基盤
- 学術情報の確保と形成
 - 図書・雑誌総合目録(9,500万件)
 - 学会誌・紀要論文(300万論文)
 - 科研費成果報告書(56万件)
 - 海外出版社の電子ジャーナルアーカイブ(340万論文)
- 学術ポータル
 - 学術コンテンツ・ポータル(GeNii)から発信
- 重点イニシアティブ
 - 大学で生み出された多様な学術情報→機関リポジトリ

委託事業の開始(平成17年度)

□ 委託先の選出

- 機関リポジトリの構築・運用に関するこれまでの実績及び全学的な計画の有無等の調査に基づき19大学を選出

□ 委託大学(19大学)

- 北海道大学, 東北大学, 筑波大学, 千葉大学, 東京大学, 東京工業大学, 東京学芸大学, 金沢大学, 名古屋大学, 京都大学, 大阪大学, 岡山大学, 広島大学, 山口大学, 九州大学, 熊本大学, 長崎大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学

→ **学術機関リポジトリ構築連携支援事業**

<http://www.nii.ac.jp/irp/>

委託事業の拡大(平成18年度～19年度)

□ 基本コンセプト

- 2つの目標
 - 機関リポジトリの全国的な展開
 - 先端的な研究開発
- 2つの事業領域
 - 領域1(機関リポジトリの構築と運用)
 - 領域2(先端的な研究・開発)
- 透明性と競争性を確保した選定プロセス
 - 公募の採用

□ 選定結果

- 領域1として, 57大学を選定
 - 19年度に+13大学 →70大学
- 領域2として, 22の先端的な研究開発テーマの採択
 - 19年度に再編 →14プロジェクト

NIIの役割

□コンテンツ拡充:

- 研究紀要のコンテンツ提供(メタデータ+本文PDF)
- 国内学会誌の掲載論文を機関リポジトリにデポジットするための包括的利用許諾

□システム連携:

- メタデータ標準フォーマット: JuNii2の策定と公開
- 機関リポジトリポータル: JuNii+の開発・提供

□コミュニティ形成:

- 研修, 報告交流会, オープンハウスでのワークショップ開催等
- DRFの支援

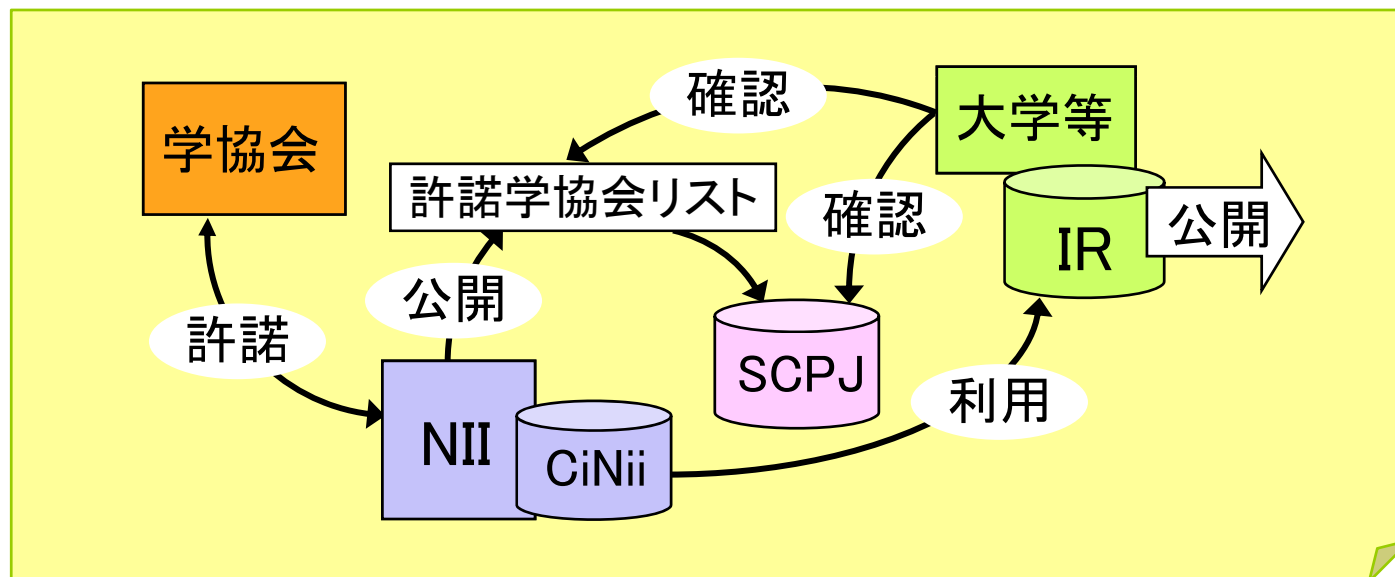
※DRF: デジタルリポジトリ連合 (北大, 千葉大, 金沢大 ほか) (<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/>)

コンテンツ拡充策：学会からの包括許諾

□ 機関リポジトリへのコンテンツ掲載の包括的許諾

CiNii無料一般公開雑誌の本文を機関リポジトリで利用

- 回答率：約7割
(約174学会中114学会)
- 「無料公開している範囲は認めます」：約8割
(238タイトル中197タイトル) … 2007/11/29現在



※SCPJ: Society Copyright Policies in Japan

学協会著作権ポリシーデータベース(筑波大, 神戸大, 千葉大) (<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>)

学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ)

SCPJ

Society Copyright Policies in Japan **学協会著作権ポリシーデータベース**

学協会の著作権ポリシーを調べる

学協会名から検索

(学協会名の一部から検索できます。and,or検索はできません)

検索

雑誌名から検索

(雑誌名、ISSN、ヨミの一部から検索できます。and,or検索はできません)

検索

ポリシーごとの一覧表示

- Green** … 査読前・査読後のどちらでもよい
 - Blue** … 査読後の論文のみ認める
 - Yellow** … 査読前の論文のみ認める
 - White** … リポジトリへの保存を認めていない
 - Gray** … 検討中・調査中・その他
- [すべて表示](#)

現在、684件のデータが登録されています。そのうちGreenは30件、Blueは152件です。

関連リンク

- [NII-ELSコンテンツの機関リポジトリへの提供許諾条件一覧](#)… CiNii

SCPJについて

日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況が調べられます。

[>詳しい情報](#)

著作権ポリシーとは

[論文の著作権](#)
[著者版と出版社版](#)
[データベースにない学協会について](#)

質問用フォーマット：[MicrosoftWord版](#) / [PDF版](#)

Q&A

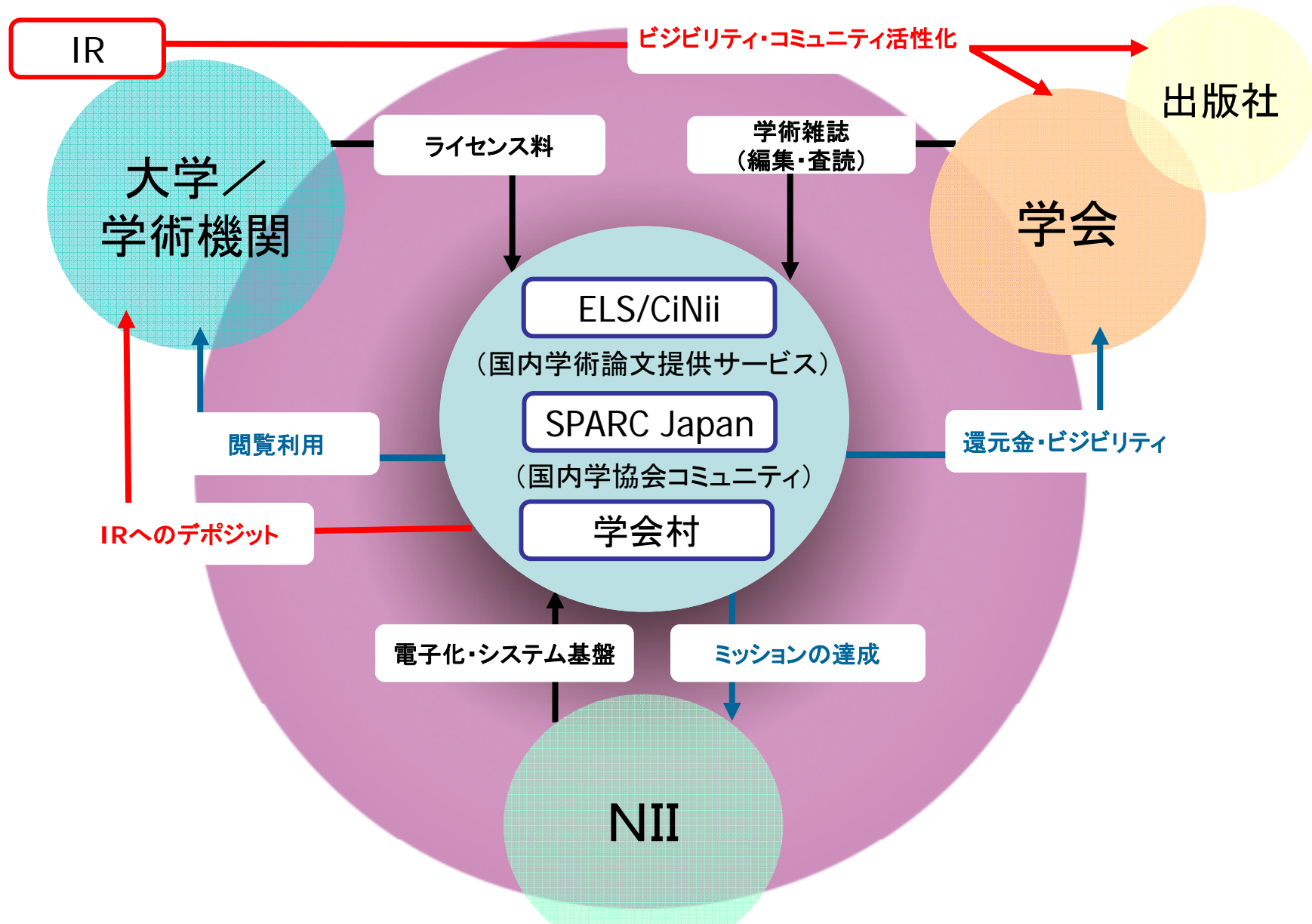
ただいま準備中です

事業委託大学

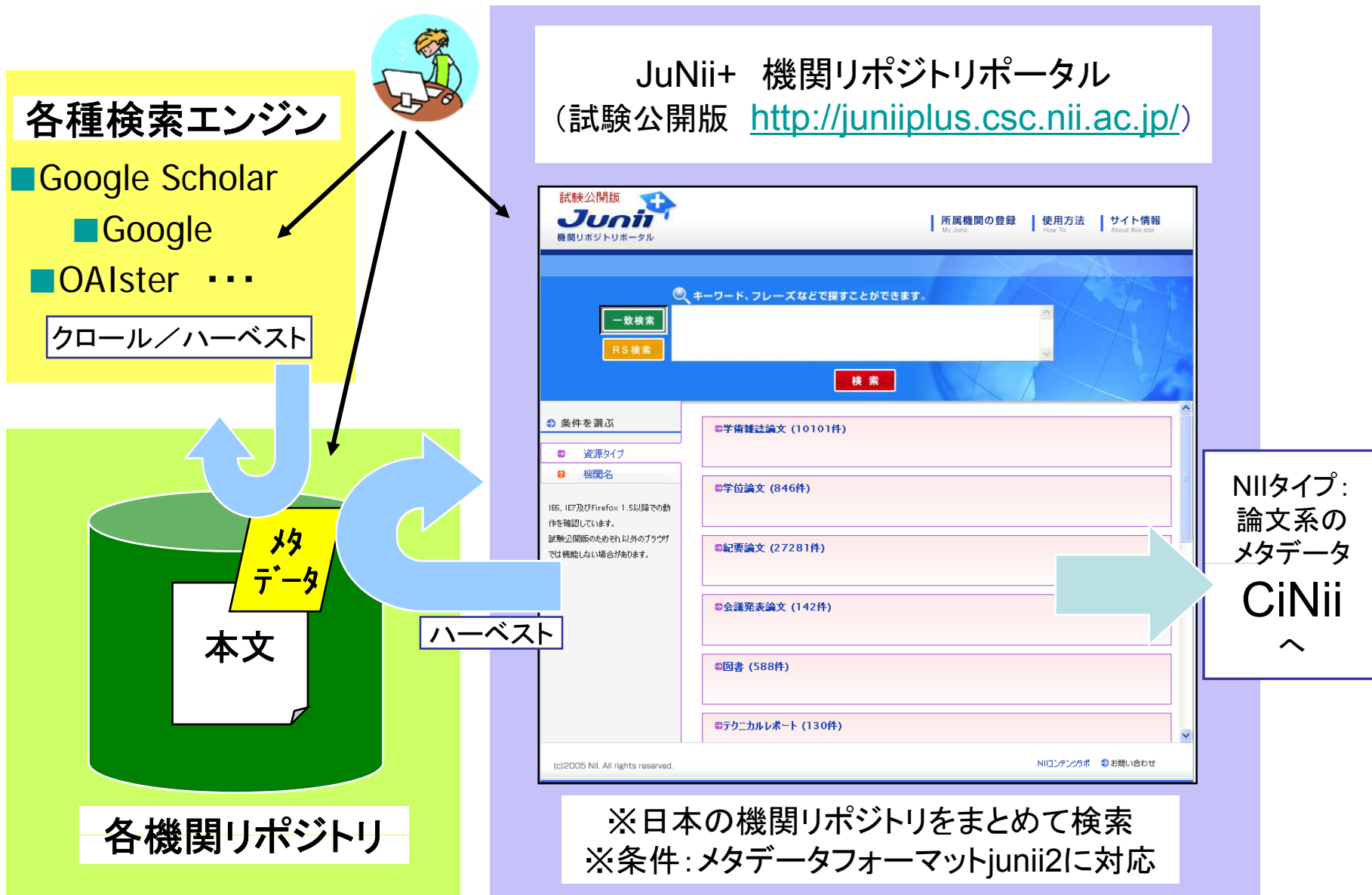
[筑波大学附属図書館](#)
[千葉大学附属図書館](#)
[神戸大学附属図書館](#)

Last updated: 2007/10/11

共生モデル



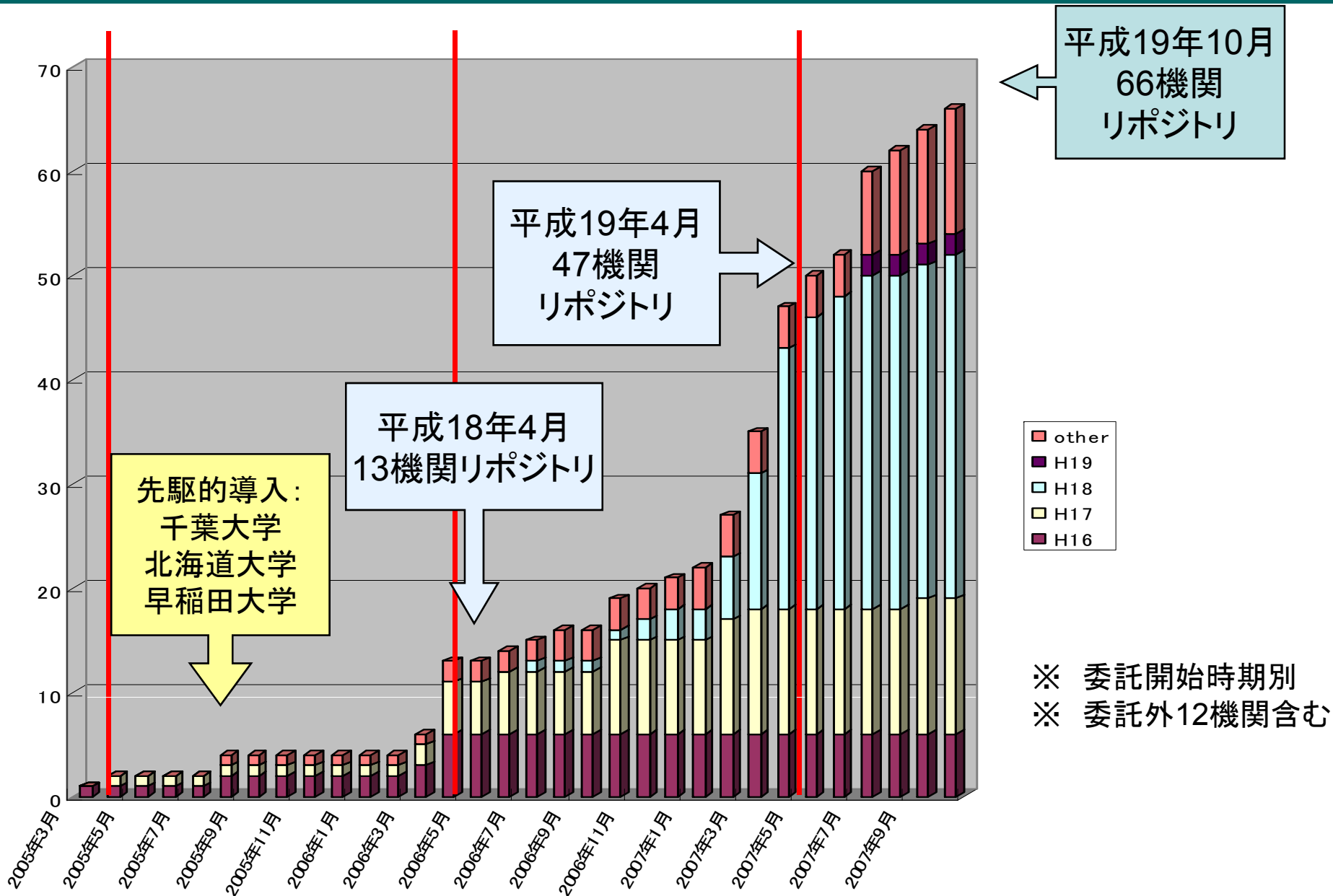
システム連携策：機関リポジトリポータル



※日本の機関リポジトリをまとめて検索
※条件：メタデータフォーマットjunii2に対応

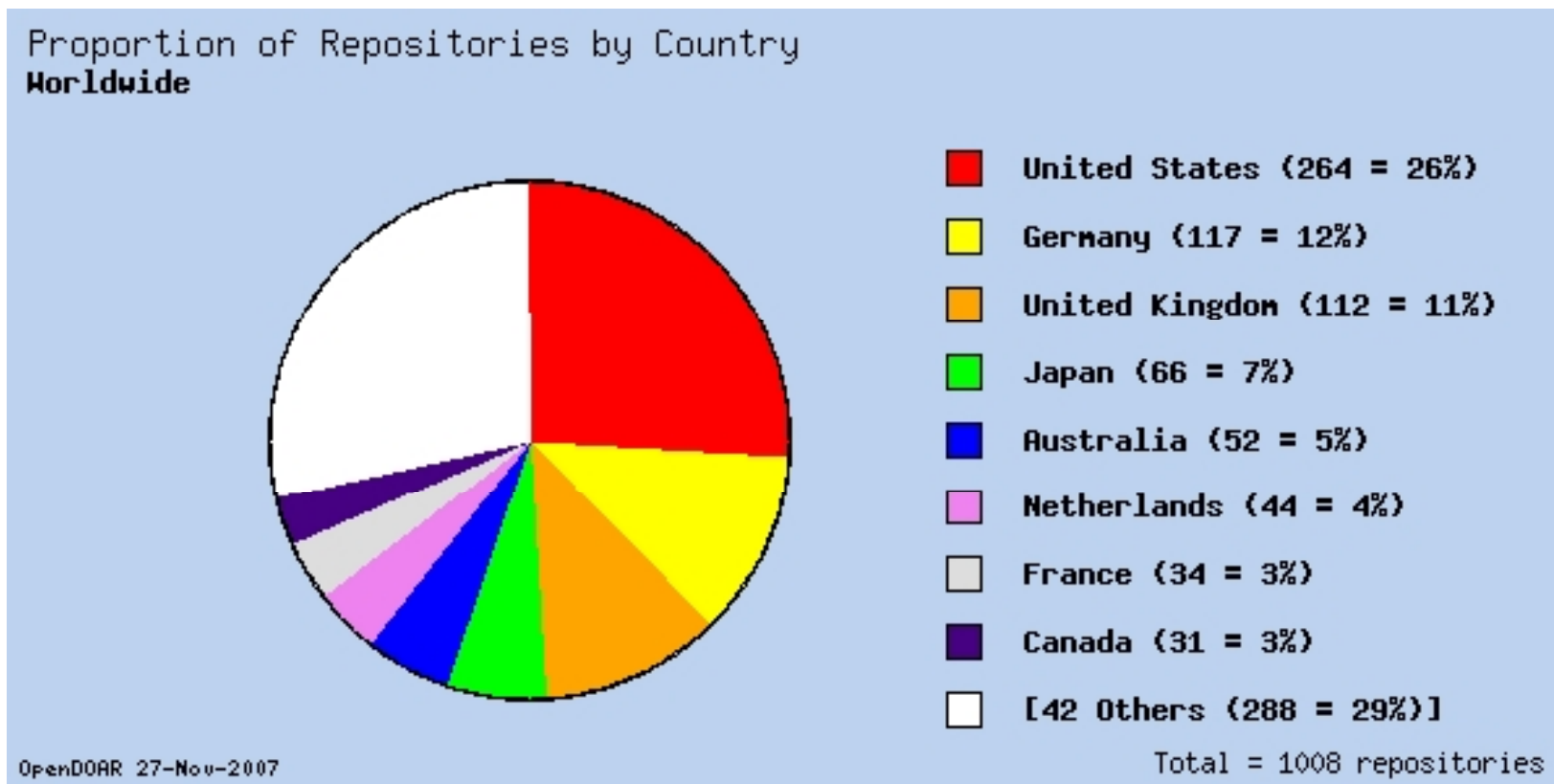
これまでの成果

機関リポジトリ公開数の伸び



機関リポジトリ：世界での位置づけ

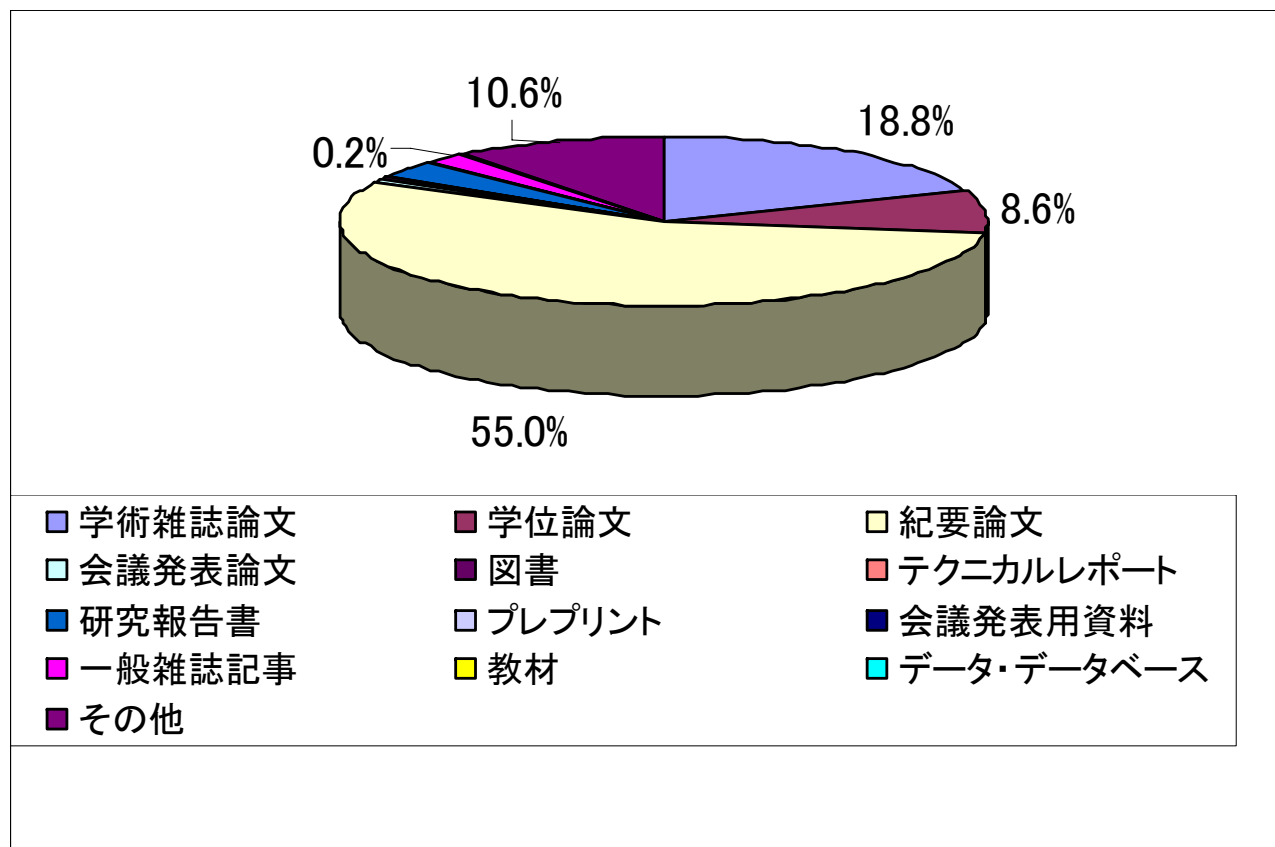
世界で構築されている機関リポジトリ：1008
日本は66機関が登録済→世界第4位に位置している



- Open DOAR: Directory of Open Access Repositories
<http://www.opendoar.org/> (参照:2007/11/27)

機関リポジトリのコンテンツ収集状況

資料種別ごとの件数



2007年11月21日時点
 機関数 45機関
 総コンテンツ数 189,912件

学術雑誌論文	35,656
学位論文	16,295
紀要論文	104,480
会議発表論文	1,630
図書	930
テクニカルレポート	416
研究報告書	5,540
プレプリント	45
会議発表用資料	445
一般雑誌記事	3,711
教材	158
データ・データベース	400
その他	20,206
合計	189,912

□ NII提供機関リポジトリポータルJuNii+ <http://juniplus.csc.nii.ac.jp/>


学術雑誌掲載論文にフォーカスした収集戦略(北大)

□研究者が学術雑誌論文を機関リポジトリに登録するインセンティブを高める工夫

- Web of Scienceに掲載されたカレントな論文について毎週、著者にメールで登録依頼
- 利用統計(ダウンロード数)を利用者にフィードバック

The screenshot shows the homepage of the Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers (HUSCAP). The header includes the HUSCAP logo and the text 'Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers'. Below the header, there is a navigation menu on the left with options like 'Home', 'Browse', 'Search', and 'Advanced Search'. The main content area features a search bar and a list of featured articles. The featured articles include 'HUSCAPレター' (HUSCAP Letter) and 'Scholarly Journals'. The 'HUSCAPレター' section lists several issues with their dates and authors, such as 'No. 6 (Apr. 2007)' by 佐伯 浩 (Hiro Aoi) and 'No. 5 (Feb. 2007)' by 有賀早苗 (Sanae Ariga). The 'Scholarly Journals' section lists 'No. 4 (Jan. 2007)' by 中村睦男 (Tomoyuki Nakamura). The page also displays statistics, such as the number of articles and views, and a 'Hot Topics' section.

業績データベースとの連携(信州大学)



Shinshu University Online System of General Academic Resources

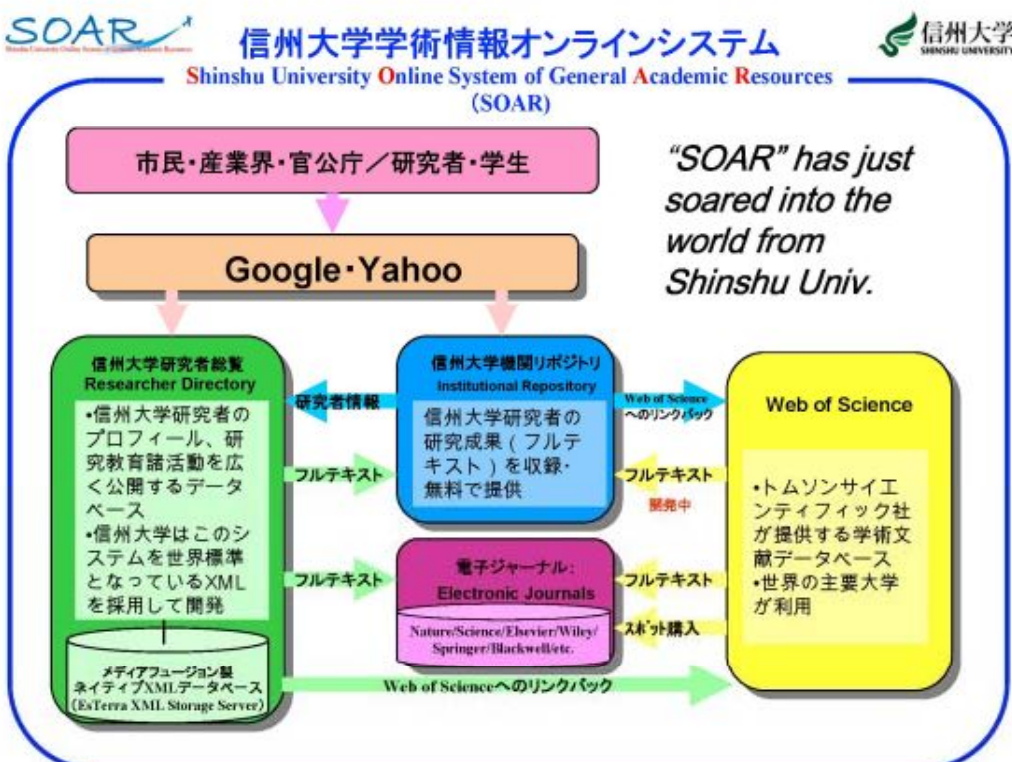
メインメニュー

- ホーム
- 最新情報
- SOARの特徴
- SOARとは
- 新・研究者総覧
- 機関リポジトリ
- 視認性の向上
- 今後のスケジュール
- 研究者総覧 画面の見方
- 無償提供に関する情報 (System Provision Information)
- 学内研究者向けFAQ (よくある質問)
- 参考資料

SOARとは

SOAR (信州大学学術情報オンラインシステム)とは、信州大学の研究者の皆さまの情報発信をサポートするための総合的なシステムです。

研究者総覧(図左)と機関リポジトリ(図中央上)との連携により、信州大学の研究者の皆さまの、視認性向上と負担軽減を目指します。



"SOAR" has just soared into the world from Shinshu Univ.

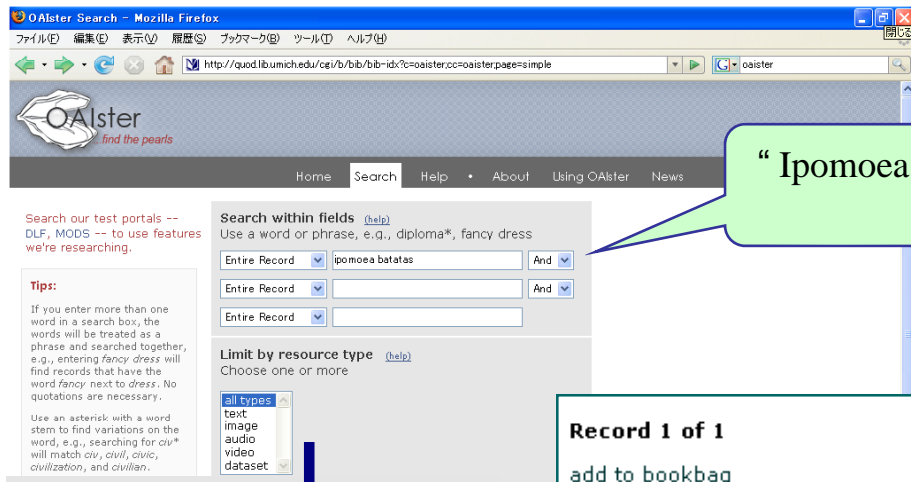
サイト内検索

検索

高度な検索

外部サービスプロバイダの活用(千葉大学)

OAlster(オイスター)
900機関
1,400万件のメタデータ



“Ipomoea batatas”で検索

Results by Data Contributor

African Journals Online (AJOL)	13 records
Archivos Latinoamericanos de Produccion Animal (ALPA)	5 records
Australasian Digital Theses (ADT) Program	1 record
Bioline International (BI)	5 records
BioOne	5 records
CiteBase	1 record
CURATOR: Chiba University's Repository for Access to Outcomes from Research	8 records
Cybertesis Peru, Universidad Nacional Mayor de San Marcos (UNMSM)	1 record



Record 1 of 1

add to bookbag

Title	Air temperature effect on leaf development in vegetative propagation of sweetpotato single node cutting under artificial lighting
Author/Creator	藤原, 雅哉; フジワラ, マサヤ; Fujiwara, Masaya; 久保田, 智恵利; クボタ, チエリ; Kubota, Chieri; 古在, 豊樹; コザイ, トヨキ; Kozai, Toyoki; Kosuke, Sakami
Resource Type	雑誌掲載論文
Resource Type	研究成果-論文
Language	eng
Note	hasVersion:http://dx.doi.org/10.1016/S0304-4238(03)00116-X
Note	BibliographicCitation:info:ofi/fmt:kev:mtx:ctx:Scientia Horticulturae Vol.99 no.3-4 page.249-256 (20040227)
Subject	Controlled environment transplant production; Ipomoea batatas ; Leaf blade length; Number of propagules; Production scheduling; Propagule development rate
URL	http://mitzane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/C0000050794/SchHort99.pdf
Institution	CURATOR: Chiba University's Repository for Access to Outcomes from Research

検索結果

32機関のリポジトリから215件ヒット。そのうち、CURATORで8件ヒット。

□OPACとJuNii+のマッシュアップ

– 目的:

- 機関リポジトリに登録する学術コンテンツを収集する上で、教員の機関リポジトリ認知度向上が必要。
- 利便性を実感してもらい、機関リポジトリをPRするため。

– 方法:

- OPACの書誌詳細表示画面にAjaxを利用してJuNii+の検索結果を追加表示。
 - OPACの改造は必要としないため、比較的容易に実現可能。
- ※JuNii+の検索結果はXMLで出力されるため、JuNii+からのレスポンスをJavaScript等で処理することが可能。
- ※AjaxはJavaScriptを用いて必要に応じてサーバからデータを取得し、ブラウザの内容を変更する手法。

参考文献: 寸田五郎, AjaxによるOPAC機能拡張の試み.

九州地区国立大学図書館協議会誌, 50. (2008年2月発行予定)

JuNii+の活用事例(宮崎大学)-2

http://opac.lib.miyazaki-u.ac.jp:8080/

宮崎大学附属図書館蔵書検索システム (OPAC)

+++図書館からのお知らせ+++

- [宮崎大学学術情報リポジリー一般公開開始](#)
- [貸出確認、複写・貸借依頼、リクエスト等ができる「オンラインサービス」について](#)
- [各図書館への交通案内](#)

資料検索(標準)

資料検索(詳細)

ペストリーダー

新着案内

マニュアル

[多言語表示について](#)

[UTF-8\(多言語\)へ](#)

English

OPAC終了

検索例: [図書](#) [和雑誌](#) [洋雑誌](#) [日本語論文](#) [外国語論文](#)

ブックマーク:

Webcatを検索する

ファイル種別 全資料 和図書 洋図書 和雑誌 洋雑誌

タイトル

著者名

出版者

キーワード

出版年(図書のみ)

ISBN ISSN

ソートキー ソート順

検索例:
イチゴ

JuNii+の活用事例(宮崎大学)-3

資料検索(標準)
資料検索(詳細)
ベストリーガー
新着案内
マニュアル
[多言語表示について](#)
UTF-8(多言語)へ
English
OPAC終了

オンラインサービス
(学内限定)
利用問い合わせ
リクエスト
文献複写依頼
図書貸借依頼
図書購入依頼
システム

館内図(本館)
館内図(医学分館)

書誌一覧(87件)

[ダウンロード](#)

件数が多い場合は表示までに時間がかかります

[検索条件] [検索履歴の保存](#) [検索履歴のクリア](#)
検索キーに登録番号、資料ID、請求記号が含まれているときは保存できません。

[絞込み]
検索結果を絞り込むには、条件を指定して絞込みボタンを押してください。

タイトル
著者名
出版者
出版年 配置場所
[絞込み](#)

一覧表示ページ: [1](#) [2](#)
ブックマーク: [追加](#) [参照](#) [クリア](#) [削除](#)

No. 書誌事項

1. [イチゴ: 基礎生理と応用技術 / 農文協編. -- 改訂版. -- 農山漁村文化協会, 1983.5. -- \(野菜全書 / 農文協編\).](#)
2. [イチゴ・ネギ類・他. -- 農山漁村文化協会, 1987.8. -- \(原色野菜病害虫百科: 診断と防除 / 農文協編; 3\).](#)

一覧から
選択

JuNii+の活用事例(宮崎大学)-4

[Webcat](#) [検索履歴](#) [検索結果](#)

書誌詳細

[ダウンロード](#)

一覧件数が多い場合は表示までに時間がかかります

ブックマーク: [追加](#) [参照](#) [クリア](#)

和図書<TW00000254>
標題および責任表示
版事項
出版・頒布事項
形態事項
書誌構造リンク
その他の標題
NCID
本文言語コード
著者標目リンク

イチゴ:基礎生理と応用技術 / 農文協編||イチゴ:キン セイリト オウヨウ ギジュツ
改訂版
東京:農山漁村文化協会,1983.5
iii,828p:図版;27cm
[野菜全書 / 農文協編||ヤサイ ゼンショ <TW01019495> //a](#)
ST:イチゴ:基礎生理・作型・品種・精農家の栽培技術||イチゴ:キン セイリ サクガタヒンシュ セイノウカノ サイバイ ギジュツ
BN13849241
日本語
[農山漁村文化協会||ノウ サン ギョソンブンカ キョウカイ <AU000007108>](#)

所蔵一覧(2件)

巻号: 年月次:

配置場所: [巻号を絞り込む](#)

No.	巻号	所蔵館	配置場所	資料ID	請求記号
1.		本館	1F開架	0004166467	626.29/N1/2A
2.		本館	1F開架	0001745142	626.29/N1/2

関連する学術成果

機関リポジトリを通じて、論文等の本文を読むことができます。

1. [イチゴ養液栽培の収益性](#) / 門間, 要吉 MONMA, Yukiichi MONMA, Yokichi 慶野, 征ジケイノ, セイジ KEINO, Seiji 小林, 康平 コバヤシ, コウヘイ KOBAYASHI, Kohei
2. [特産地農業に関する研究: IV. 関東におけるイチゴ生産の実態と主産地形成に関する経営的考察](#) / 中島, 忠重 ナカジマ, タダシゲ NAKAJIMA, Tadashiige
3. [緑化樹木の生物季節に関する研究](#) / 中島, 敦司 Nakashima, Atsushi
4. [イチゴ黒斑病菌の生成する宿主特異的毒素](#) / 山本, 幹博
5. [イチゴ収穫ロボットの超音波センサに関する基礎研究](#) / 崔, 永杰 小林, 太一 永田, 雅輝 CUI, Yongjie KOBAYASHI, Taichi NAGATA, Masateru コバヤシ, タイチ ナガタ, マサテル
6. [新潟におけるハウス促成栽培イチゴの炭酸ガス施肥効果](#) / 高橋, 能彦 佐藤, 巧 伊部, 歩 柴崎, 則久 野水, 幸一 伊藤, 道秋
7. [寒冷地におけるイチゴ苗の取扱いが生育、収量に及ぼす影響](#) / 沢田, 英吉 田村, 勉
8. [高級栽培イチゴの生産性向上に関する研究](#) / 遠藤, 昌伸

書誌情報を抽出し、
JuNii+を検索

関連する学術コンテンツ
リンクを表示

JuNii+の活用事例(宮崎大学)-5

宮崎大学学術情報リポジトリ

リポジトリ検索
検索
詳細検索

ホーム

ブラウズ
カテゴリ & コレクション
タイトル
著者
キーワード・分類
掲載誌
日付

マイ・リポジトリ
登録利用者
宮崎大学学術情報リポジトリについて

宮崎大学学術情報リポジトリ >
40 農学部(農学研究科) >
40B001 宮崎大学農学部研究報告 >

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
KJ00004192556.pdf		1551Kb	Adobe PDF

[見る/開く](#)

本文へ

タイトル: イチゴ収穫ロボットの超音波センサに関する基礎研究
別タイトル: Basic Study on Ultrasonic Sensor for Harvesting Robot of Strawberry
著者: 崔, 永杰 / 小林, 太一 / 永田, 雅輝
著者別名: CUI, Yongjie / KOBAYASHI, Taichi / NAGATA, Masateru
キーワード: イチゴ / 計測差 / 降下距離 / 収穫ロボット / 超音波センサ / Descent distance / Harvesting robot / Strawberry / Ultrasonic sensor
発行日: 23-Mar-2005
出版者: 宮崎大学農学部

抄録: 本論文では超音波を用いてイチゴの距離計測を行い,果柄を把持・切断して収穫するための最適な摘採ハンドのイチゴは宮崎市木花地区ハウス栽培の"章姫"品種を用いた.超音波センサによる計測距離は実測距離より大きくなる傾向がみられた.形状の影響はAがBよりばらつきが小さいことが確認された.収穫適期(度:8分着色,10分着色,形状:A)における計測差の平均値は3.8mmであった.よって,補正値a=3.8mmと決定する条件と摘採ハンドの安全条件を満たす降下距離は20mmと判断された.今回は,超音波センサによるイチゴの補正値を用いることで,イチゴ収穫ロボットにおける摘採ハンドの降下距離の制御に適用できることが確認された. The vertical distance of the strawberry fruits was measured using ultrasonic wave in this study. The measured distance for the harvesting hand that could cut and hold the fruits through their peduncle sample strawberries (Fragaria x ananassa Duch. Variety "Akihime") were taken from a grenhouse in the Kibana area. The measured distance using the ultrasonic sensor had indicated consistent true distance. The measurement difference S tended to become smaller as the degree of ripeness increased. The effects of shape confirmed A to be smaller than B. Because the mean value of the measurement difference of the strawberry (at various sizes : M, L, 2L, 3L; degree of ripeness : 80 % and 100 % ; an

コミュニティの形成

□ DRF: Digital Repository Federation (デジタルリポジトリ連合)

- <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/>
- 活動目標
 - 参加大学(58大学)が相互に情報を交換・共有
 - 各大学でのリポジトリ導入・運営に貢献しあう
 - プロジェクト型のコンソーシアム活動
 - 互助的なゆるい連携組織の在り方を模索
- 各種イベントの企画・実施
 - ワークショップ, 国際シンポジウムの開催
 - NIIの研修への協力
 - コミュニティサイトの運営(Wiki, ML)

□ SCPJ: Society Copyright Policy in Japan (国内学協会著作権ポリシー共有・公開プロジェクト)

- <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>
- 学会への著作権ポリシー公開働きかけ
- データベースの維持管理
- 著作権調査の実務上の困難を共同で解決

課題と展望

今後の在り方(論点整理)

1. 安定的な財政基盤の確立

- 大学での自主的な取組み・自己資金の調達について

2. 全国的な展開

- 裾野をどう広げるか
- 共同リポジトリの可能性

3. 機関リポジトリの質の向上

- 活用されるリポジトリ(コンテンツの質, 利便性向上)

4. 機関リポジトリのコンテンツポリシー

- 重点コンテンツ

1. 安定的な財政基盤の確立

- 呼び水としての効果はあったか？
- 持続的活動としての体制は整ったか？
 - 大学の自主的な取組
 - 自己資金の調達
 - 体制作り
- 大学戦略への位置づけ
 - 研究環境整備のための財源確保
 - 研究費の一部を配分(共通経費の△△パーセント)
 - 情報・広報戦略

2. 全国的な展開

□70機関で十分か？

– 日本の研究バックグラウンド

- 研究者:80万人 世界第3位(1位:米国, 2位:中国)
- 論文数(ISI収録ジャーナル):89万件 世界第2位(1位:米国)
- 大学数:744大学(うち, 学位授与大学:415大学)
 - 参考: 短大:434, 高専:64

□委託機関以外の動き

- 研修の受講
- DRFへの参加
- 自力構築

□さらなる展開を図るには

- 共同デポ
- 共同構築リポジトリ(広島県タイプ, 山形大タイプ)
- 図書館業務システム

3. 機関リポジトリの質の向上

□活用される機関リポジトリ

－コンテンツの質の向上

- ・内容の充実

－サービス機能の向上

－研究活動におけるIR利用の促進のために

- » 読み手としての利用
- » 書き手としての利用

□研究開発プロジェクトの継承と見直しが必要

－波及効果の高いプロジェクト

－既に自主的取組が始まっているプロジェクト

4. 機関リポジトリのコンテンツポリシー

- 原則として機関が決めるもの
- 情報基盤としては重点コンテンツを設定すべき
 - 学術論文へのオープンアクセスの実現
 - 紀要
 - 機関リポジトリにしか存在しないコンテンツ
 - 学位論文
 - 科研費補助金報告書
 - 研究データ
- NIIの既存事業との整合性, 相互運用性も考慮したい
 - ELS/CiNii
 - SPARC Japan
 - 学協会情報発信サービス
 - 大学図書館と学会とNIIの共生

来年度以降の基本方針

□基本的な考え方

1. 第1期(平成17年度～19年度)の成果と課題を踏まえ、第2期(平成20年度～21年度を想定)を開始
2. 機関リポジトリの更なる普及とコンテンツの拡充(領域1)、及びリポジトリ相互の連携による新たなサービスの構築(領域2)をめざした委託事業を実施
3. 原則として、公募により委託先を決定
4. 自己資金の確保を重視
5. 重点コンテンツ(学位論文、科研費成果報告書及びその関連コンテンツ)を指定

□スケジュール(予定)

- － 平成20年1月下旬、公募開始

関連情報

NIIのサイト



<http://www.nii.ac.jp/irp/>

DRF (デジタルリポジトリ連合)



<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/irp/>